

「民生委員児童委員の日」活動強化週間に寄せて

毎年5月12日から18日までは民生児童委員の活動強化週間となっています。三島町においては5月16日を中心に、マスクを着用しコロナ対策に気配りをしながら、各委員が担当地区の安否確認かたがた一斉訪問を実施しました。私の担当する大谷地区では、17日に高齢者のみの世帯13戸を訪問し、留守宅もありましたが、民生児童委員のPRチラシや啓発チラシなどをお配りしました。

私たちは、皆様から相談された内容を的確に専門機関につなぎ、早期に解決できる様に橋渡しをする仕事です。民生児童委員には守秘義務がありますので、小さな悩みや疑問でも一人で悩まないで、どうぞお気軽に安心して地区担当民生児童委員に声を掛けていただきたいと思います。



報告者：二瓶正雄（大谷地区担当）

訪問活動で一句！

お昼時 大盛冷やし 夫婦愛

80代のご夫婦宅を訪問した際、ちょうどお昼の冷やし中華が食卓に並んでいました。長年連れ添い、喧嘩をしながらも、三度三度の食事を用意してくれるのは最高だと笑ってきました☆

読み手：秦フジ子(大石田地区担当)



5月定例会：「児童相談について」

まだ薄暗い早朝近くの山を鳴きわたるホトトギスの声で目が覚めました。この鳥はほかの鳥の巣に卵を産む托卵をして、自分は子育てをしません。しかし、人間社会においてはそうであってはなりません。今回の研修の事例の中で児童の一時保護という言葉が特に耳に残りました。親からの虐待を受けている児童を保護するというその悲惨であろう状態は想像しただけでも身につまされます。幸いにも町内ではこのような事例はないとのことで多少安堵はしましたが、どこかでは現実には起きている事なのです。

今、私たちの生活はコロナに振り回されて、なかなか外出もままならなくなっており、それが児童虐待の引き金にならないように、一刻も早い終息と平穏な生活に戻れるように切に願います。

報告者：山内初治（西方地区担当）



自主研修で自己研鑽

7月：介護保険制度について



三島町の介護保険料は全国でもトップ10に入ります。なぜ高額なのか？ひとつには、様々な事情が重なって、施設に入所される方の割合が他町村に比べ多いこともあるようです。施設はなくてはならないサービスであることは間違いありません。しかし、地域で元気に過ごせる期間をできるだけ長くできるように予防していくことがとても重要だと感じました。

介護保険制度は住み慣れた地域で安心して暮らし続ける為の制度です。介護が必要になるきっかけは様々で、今まで出来ていたことが出来なくなるなど突然始まることもあります。「あれ、おかしいな？」と思ったら、早めに誰かに相談しましょう。私たち、地区担当の民生委員にも気軽に声を掛けてください。

みんないつかは老います。食事・睡眠・軽い運動を心掛けて、健康な身体で長生きできるように頑張りましょう。

報告者：目黒恒子（滝谷地区担当）

令和2年度 三島町民生児童委員協議会 事業報告

- ①定例会 原則毎月第1木曜日開催
活動報告・協議事項・地区内の課題及び
ケース検討・今後の予定など
- 【自主研修】
5月「活動強化方策の策定について①」
6月「活動強化方策の策定について②」
7月「活動強化方策の策定について③」
8月「活動強化方策の策定について④」
9月「災害時一人も見逃さない運動」
DVD観賞・意見交換
11月「奥会津在宅医療センターについて①」
12月「奥会津在宅医療センターについて②」
1月「新型コロナウイルス感染症と
こころのケア～地域の支援者のために～」
- 【小グループ意見交換会】
2月「令和2年度事業・活動の反省と
令和3年度事業計画策定に向けて」
- ②役員会・監査会 年4回（4月・12月・2月）
- ③広報委員会 年3回（6月・11月・2月）
- ④研修
9月 福島県民児協理事・監事・評議員
方部別情報交換会（郡山市）
12月 福島県民児協広報・研修部会
活動企画部会及び理事会（郡山市）

- ⑤調査活動
・福祉票、緊急連絡カードの整備
・災害時要支援者カードの作成
・福祉マップの整備
・防火診断対象世帯（11月2件）
・除雪援護費助成対象者調査
・歳末たすけあい援護世帯対象者調査
・冬期間留守世帯調査
・除雪時要注意世帯調査
- ⑥相談活動 心配ごと相談所の運営協力
- ⑦見守り・一斉訪問活動（5月・10月・2月）
- ⑧みんきょう便りの発行（7月・12月・3月）
- ⑨その他の活動
・地域ふれあいサロン開催支援、協力
・社会を明るくする運動への協力
・老人クラブ「大石田長寿会」との交流会
・歳末たすけあい募金活動の協力
・福島県民生児童委員協議会理事会・評議員会
・会津地方民生児童委員会長連絡会役員会
・社会福祉協議会への事業協力
・町、学校、保育所事業への協力
・町老人クラブ連合会への協力
・町戦没者遺族会事業への協力
・保護司会への協力

春の火災予防週間「高齢者宅防火診断」



消防署三島出張所・三島駐在所・東北電力サービスセンター・三島消防団・町役場・地区担当民生児童委員が訪問しました☆

4月12日、「三島町から火災を出さない」を合言葉に、2軒の高齢者宅を訪問し実施しました。警察の方からはオレオレ詐欺や反射材について、消防署からは警報器について、東北電力からは漏電について説明をされ、2軒とも問題ないと診断されました。これからも、火事を出さないよう・詐欺にあわないよう・コロナに負けないように頑張りましょう。

防火診断の立ち合いはとてもいい経験となりました。これからも、皆様とともに支え合い、しあわせな生活を維持できるように頑張りたいと思いました。何かありましたら気軽に声を掛けて下さい。診断にご協力いただいた地区住民の方ありがとうございました。

報告者：栗城ゆみ子（宮下地区担当）



☆編集後記☆

発行：三島町民生児童委員協議会
〈広報委員〉佐久間 絹 江
二 瓶 とよ子
湯 田 恭 子
事務局／三島町社会福祉協議会

三島町では新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が順調に進んでおり本当に良かったです。そんな中、1年遅れて東京オリンピックが開催されようとしています。手放して喜べないのが少し残念です。一日も早い終息を望みます。

また、最近では地球温暖化の影響もあってか、室内での熱中症も心配されます。喉が渇く前に、水分を取るよう心掛けてこの夏を乗り切りましょう。二瓶とよ子（荒屋敷・桑原地区担当）